

かなくらのやま
金蔵山古墳

(1) 所在地 岡山市中区沢田

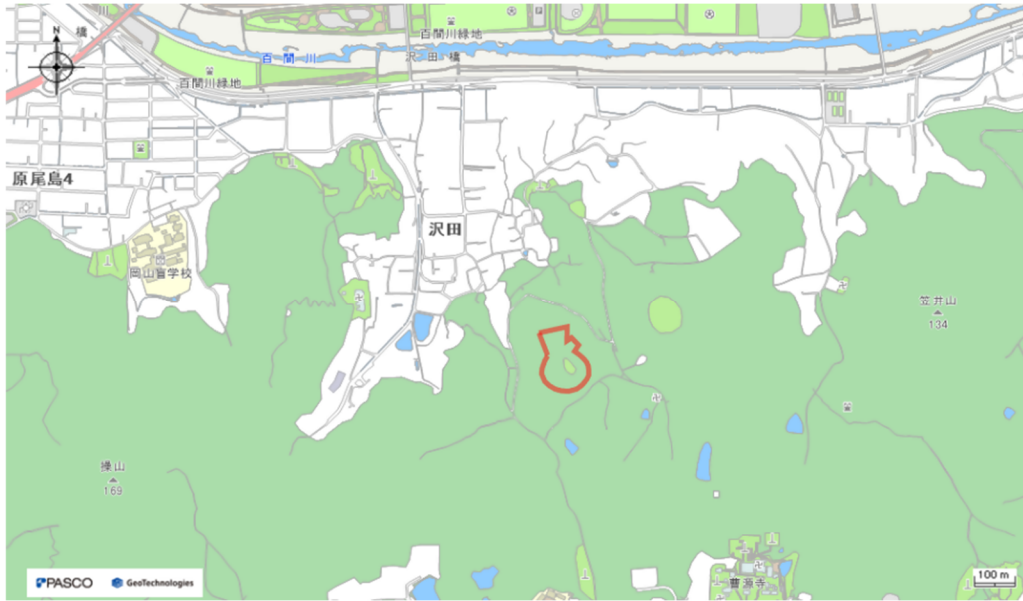
(2) 指定地面積 38,699 m²

(3) 所有関係 民有地

(4) 概要

金蔵山古墳は、岡山平野の中央部、^{みさおやま}操山丘陵に立地する墳長約158mの前方後円墳である。後円部、前方部ともに三段築成で、墳端部には低いテラス上の段がつく。西くびれ部には造り出し、東くびれ部には^{しまじょういこう}島状遺構がある。

古墳時代前期末から中期初頭の吉備を代表する首長墳で、当該期の中国・四国・九州地域における最大規模の古墳でもある。後円部の埋葬施設や豊富な副葬品に加え、後円部墳頂、造り出し、島状遺構での埴輪や土器の組成や配置方式が明らかになっている。墳丘構造や副葬品、体系的な形象埴輪群からは、ヤマト政権との密接な関係や朝鮮半島との交流をみることができる。吉備の地域首長の実態とその動向、ヤマト政権の政治的動向を考えるうえで重要である。



金蔵山古墳位置図



くびれ部の後円部第2段テラス（西から） [岡山市教育委員会提供]



造り出し埴輪、葺石検出状況（北から） [岡山市教育委員会提供]

岡山大学構内（旧歩兵隊将校集会所）庭園

（１）所在地 岡山市北区津島中

（２）登録面積 1,378 m²

（３）所有関係 国立大学法人所有地

（４）概要

岡山大学構内（旧歩兵隊将校集会所）庭園は、岡山大学津島キャンパス内に所在する。現在庭園が残る敷地は、戦前は歩兵第十連隊将校集会所があり、庭園も集会所と同じ時期に造られたと考えられている。昭和24年（1949）に岡山大学が設置されると、集会所の建物と庭園は大学に引き継がれ、岡山大学津島宿泊所となった。建物は来学者用の宿泊施設に建て替えられたが、その位置などは大きく変わっておらず、庭園の敷地も戦前のものが引き継がれていると考えられる。

敷地の北半分には建物が建ち、南半分が庭園となる。建物から見ると、手前に平坦な部分が広がり、その向こうに瓢箪形の池が奥へ向かってのび、右奥に築山が続く。築山の斜面には燈籠が、頂部には2つの立石が配される。



庭園位置図



庭園西部（北東から）